SC NEW

SOLID SINGLEBOBIN GUITAR

オリジナリティは名手の必須条件。
そして名手は銘器の出現を待っていた。
シングルボビン派へ、いまニュー「SC」

ニューシェイプヘッド

パーフェクトチューニングこそプロサウンドの秘訣。ハンバッキングモデルと共通のヘッド&ダイキャスト・トルク調整付糸巻のコンビにより、1〜6弦まで均一なテンションが得られ、アーミング時のチューニングも安定している。白蝶貝のフラワーインレイもじつに鮮やか。

バック&トップカットボディ

腕、ボディとも軽くスリムにフィットするボディカッティングはハイテクニックを活かしきるためのアイデア。SFモデルに通ずるボディシェイプは、ソリッドギターが到達すべきひとつの理想の姿。

ワンピース構造

ボディとネックを一体で削り出し。弦振動は切れ目のない理想のループを描いてロスなくボディを伝わり、シングルボビンモデルでは異例なロングサスティンを約束。(SC-7000)

オールドシェイプネック

オールドシェイプのスリムネックをピッチをつけて完全セットネック。ハイポジションでのプレイも難なくこなせて、ソリッドシングルボビンの弾きやすさはより高まった。スムーズな演奏性の秘密がここにも。ネック素材にはメープルを採用。

シングルボビン「C」

オールディなブリリアントサウンドを弾きだすボールピースタイプのニューCマイク。その音量感あるウォームな中域とキレのよい高域。驚異のバイサウンド回路も内蔵。

バイサウンドシステムMkII

トーンノブを押すだけでシングルボビンピックアップからハンバッキングなみのハイパワーサウンドが飛び出す、驚異のファンクション。

ロータリー式5ポジションSW

3つのピックアップのそれぞれの中間位置にぴたりとセットでき、ハーフトーンも自在に弾き出せる。

SC-7000

サウンド・ルックス・演奏性がこれほどまでバランスされたソリッドシングルボビンがあっただろうか音創りの機能も満載。ワンピース構造をもつ最高峰のSC。

マイク＝シングルボビンC-II×3
コントロール＝ボリューム×1、トーン（プッシュロックSW付）×1、5ポジションSW×1
胴＝アルダー＋メープル＋マホガニー
棹＝メープル＋マホガニー
指板＝ストライプドエボニー
胴・棹＝ワンピース構造
弦＝スーパーライトゲージ／重量＝3.6kg
¥120,000

オリジナルトレモロユニット

ヤマハ独自の新設計。2点支持方式、ダブルナット方式などによりチューニングが狂いにくく、卓越した性能を発揮。繊細なビブラートプレイからトリッキーなアームプレイまで自在に弾き分けられる。

SC-3000

バイサウンドシステムMkII＋トレモロユニット。オールディな枯れた響きを基調に驚くほどのサウンド・バリエーションが可能なスタンダードなSC。

マイク＝シングルボビンC-II×3
コントロール＝ボリューム×1、トーン（プッシュロックSW付）×1、5ポジションSW×1
胴＝アルダー/棹＝メープル
指板＝ローズ/胴・棹＝セットネック
弦＝スーパーライトゲージ
重量＝3.5kg
¥60,000

SC-5000

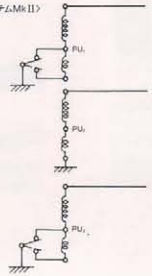
スリムネック&ジャストフィットボディ。クオリティを語るゴールドパーツ。トレモロユニットの信頼性もひときわ高いハイクラスユーザーのための1本。

マイク＝シングルボビンC-II×3
コントロール＝ボリューム×1、トーン（プッシュロックSW付）×1、5ポジションSW×1
胴＝アルダー/棹＝メープル
指板＝ローズ/胴・棹＝セットネック
弦＝スーパーライトゲージ
重量＝3.5kg
¥80,000

Singlebobin Column

I　バイサウンドシステムMkII

ヤマハ独自の驚異のバイサウンドシステムがついに第2世代を生みだした。それがSCシリーズ全機種に採用のバイサウンドシステムMkIIだ。トーンノブに組み込まれたプッシュロックSW操作ひとつで、ブリリアントなシングルボビンサウンドとハンバッキングなみのハイパワーサウンドを自由に切り換えでき、5点式ロータリーSWを併用すれば、驚くほどのサウンドバリエーションが得られる。これを可能にしたのは、ハイパワーサウンド用にあらかじめ50%増のコイルを内蔵した特殊設計のCシリーズマイクだ。ハンバッキング系のバイサウンドシステムがピックアップ回路のマイナス活用なら、MkIIはプラス活用ということができるかもしれない。



II　ワンピース構造

ソリッドハンバッカーSG-2000をルーツとするヤマハワンピース構造は、シングルボビンモデルのSC-7000にも導入されている。アルダー、メープル、マホガニーという性質の異なる素材が音源としてのお互いの長所を引き出し合うだけでなく、ボディとネックが一体で削り出されているからブリッジで受けた弦のエネルギーはロスなくボディへ。シングルボビンモデルでは破格ともいえるナチュラルなロングサスティンが得られる。ヒール部が低くなめらかにフィニッシュされているからハイポジションの演奏性もバツグンだ。ネック部が反りやねじれに強い点も見逃せない。ソリッドベースBB-2000・1200、SB-1200S同様、ふた筋のマホガニーラインの印象も鮮烈だ。

Photo：BB-2000

III　エッグシェイプのネック断面

ヤマハのシングルボビンモデルのネック断面も、1弦側のR（孤）を6弦側のRよりも小さくした独特のエッグシェイプを採用している。これは、楽器に不可欠な弾き応えとスムーズなフィット感を両立させるためのアイデアだ。ボディとのバランス、指板の素材などによりシリーズごと機種ごとで微妙なアレンジをしているから実際に弾いて確かめよう。ネックの仕上げの程度で演奏性は決定的に左右されることを知りつくしたヤマハならではの設計だ。メープルネックのパンチのあるクリアー&アタッキーな音を存分にドライブさせて欲しい。

IV　ヤマハオリジナル・トレモロユニット

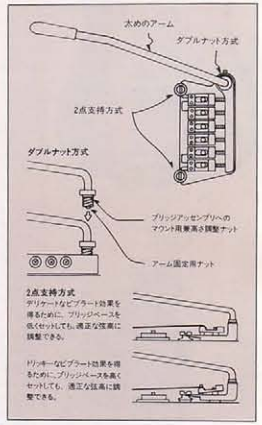
ベーシックなレベルからトータルに追求されたSCシリーズ全機種に採用のトレモロユニットについて説明しよう。

●**ブリッジアッセンブリの2点支持方式**：スタッドボルトによる2点支持方式だからアーミング時の支点移動が発生せず音程も狂いにくい。さらに、繊細なビブラートからトリッキーなビブラートまでブリッジベースを上下に調整するだけで目標の効果がたやすく得られ、弦高もつねに適正にセットできる。

●**アーム取付部のダブルナット方式**：アームの高さを調整できるだけでなく、締めすぎてアームをねじ切ってしまうなんていう不慮の事故も起こらない。

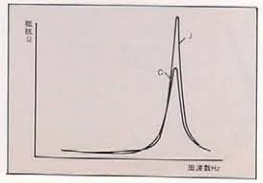
●**やや太めのアーム径**：アームのたわみがなくすばらしくレスポンスがいい。しかも折れにくい。

●**均一なテンションが得られるヘッド**：弦押さえのない、1〜6弦まで均一なテンションが得られるヘッドを採用。アーミング時の音程の安定度をグンと高めている。しかも糸巻は、ヤマハダイキャスト・トルク調整つきを採用。



V　シングルボビン系専用の2.0mm幅フレット

シングルボビン系モデルのフレットはハンバッキング系よりやや細く、2.0mm幅のタイプを採用している。これはシングルボビンサウンド特有のクリアーさをいっそうシャープにするための配慮だ。その弾きやすさをエボニー指板、ローズ指板、メープル指板のそれぞれで実感しよう。

VI　ピックアップ特性：C vs J

Jマイク（SJモデル用（ラウンドタイプ））の鋭角的な音創りに対し、Cマイクのゆるやかなカーブにはダイナミックレンジを重視した音創りがあらわれている。